

平成24年度

第1回宇治市小中一貫教育推進協議会資料

1	宇治市小中一貫教育推進協議会委員名簿	1
2	宇治市小中一貫教育推進協議会の会議の公開に関する要領	2
3	宇治市小中一貫教育推進協議会設置要項	4
4	平成23年度宇治市小中一貫教育推進協議会の活動概要報告	6
5	平成23年度小中一貫教育「全面試行」の到達状況	7
6	平成24年度宇治市小中一貫教育推進協議会の活動について(案)	8
7	平成24年度の小中一貫教育の取組について	9
8	平成24年度中学校ブロックジョイントプラン概要一覧	10
9	平成24年度ジョイントプラン ブロック独自に設定した到達目標一覧	14
10	小中一貫教育に係る意識調査(児童生徒・保護者・学校)実施要項	15
11	小中一貫教育 対象別アンケート項目比較表	16
12	小中一貫教育についてのアンケート(児童生徒・保護者・学校)	17

宇治市小中一貫教育推進協議会委員名簿（平成24年度）

	氏 名	所 属 等
学識経験者	榊原 禎宏	京都教育大学教授
小学校保護者	佐名田一郎	宇治市連合育友会会長 宇治黄檗学園育友会会長
中学校保護者	能瀬 直子	宇治市連合育友会副会長 西小倉中学校PTA会長
地域関係団体	薮 正永	宇治小学校区安全連絡会会長
	吉田 廣昭	大開小学校区青少年健全育成協議会会長
	田邊まゆみ	北槇島小学校区青少年健全育成協議会会長
小学校教員	宮脇 浩	宇治市校長会（木幡小学校校長）
	伊家 正規	「宇治黄檗学園」宇治小学校校長・黄檗中学校校長
	荻野 修司	南部小学校教頭
	小谷 実	槇島中学校ブロックチーフコーディネーター（北槇島小教諭）
	鵜飼 宏明	宇治中学校ブロックチーフコーディネーター（菟道第二小教諭）
中学校教員	坂井 雄二	宇治市中学校長会長（木幡中学校校長）
	大槻 政己	南宇治中学校教頭
	村上 善輝	北宇治中学校ブロックチーフコーディネーター（北宇治中教諭）
事 務 局	宇治市教育委員会事務局教育部 教育部長 教育部次長（教育総務課長） 教育部次長（生涯学習課長） 学校教育課長 教育改革推進室	

宇治市小中一貫教育推進協議会の会議の公開に関する要領

(趣旨)

第1条 この要領は、宇治市小中一貫教育推進協議会(以下「協議会」という。)の会議の公開に関し、必要な事項を定めるものとする。

(開催会議の事前公表)

第2条 協議会は会議を開催するにあたり、当該会議の開催日の1週間前までに、会議の概要を記載した書面を行政資料コーナーに備えるとともに市のホームページに掲載するものとする。ただし、緊急に会議を開催する必要があると認められる場合はこの限りではない。

(会議の公開)

第3条 会議の公開は傍聴を認めることにより行うものとする。

(傍聴席の区分)

第4条 傍聴席は、一般席及び報道関係者席に分ける。

(傍聴人の定員)

第5条 一般席の定員は、会場のスペースにより5名から20名程度とし、先着順とする。

(傍聴の手続き)

第6条 会議を傍聴しようとする者は、会議開催予定時刻の10分前までに、会議場の傍聴人受付において、氏名及び住所を傍聴受付票に記入し、事務局の指示に従い入場しなければならない。

(傍聴席に入ることができない者)

第7条 次の各号のいずれかに該当する者は、傍聴席に入ることができない。

- (1) 銃器その他の危険なものを携帯している者
- (2) 張り紙、ビラ、掲示板、プラカード、旗、のぼりの類を携帯している者
- (3) 笛、ラッパ、太鼓、その他の楽器の類を携帯している者
- (4) ラジオ、拡声器、無線機、マイクの類を携帯している者
- (5) 酒気を帯びていると認められる者
- (6) 前各号に定めるもののほか、会議を妨害し、または他人に迷惑をおよぼすと認められるものを携帯している者

(傍聴人の守るべき事項)

第8条 傍聴人は、傍聴席において、次の事項を守らなければならない。

- (1) 会議場における言論に対して拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと。
- (2) 私語、談笑または騒ぎ立てる等、会議を妨害しないこと。
- (3) はち巻、腕章の類をする等、示威的行為をしないこと。
- (4) 飲食または喫煙をしないこと。
- (5) 会長の許可なく、会議場において撮影、録音その他これに類する行為をしないこと。
- (6) 携帯電話等は電源を切るか、マナーモードに設定すること。
- (7) その他会議場の秩序を乱し、または会議の妨害となるような行為をしないこと。

(会長の指示)

第9条 傍聴人は、全て会長の指示に従わなければならない。

(傍聴人の退場)

第10条 傍聴人は、会議を公開しない決定があったときは、速やかに退場しなければならない。

(違反に対する措置)

第11条 傍聴人がこの要領に違反するときは、会長はこれを制止し、その命令に従わないときは、これを退場させることができる。

(会議資料の提供)

第12条 協議会は、会議資料(宇治市情報公開条例(平成17年宇治市条例第4号)第6条各号の規定に該当する情報(以下「非公開情報」という。)が記録されている部分を除く)を会議の当日までに行政資料コーナーに備えるとともに、傍聴者に提供するものとする。

(会議の非公開)

第13条 協議会は、以下の各号に該当する場合は、非公開とする理由を明らかにしたうえで、委員の過半数の賛同を得て、非公開とすることができる。

(1) 非公開情報に関し、協議等をする場合。

(2) 会議を公開することにより、公正、円滑な協議等が著しく阻害され、会議の目的が達成されないと認められる場合。

2 会議の協議事項に公開する事項と非公開とする事項がある場合において、協議を分割して行うことができると認められるときは、非公開の事項に係る部分を除いて公開するものとする。

(会議録の公開)

第14条 協議会は、公開した会議の会議録を作成し、その写しを行政資料コーナーに備え、一般の閲覧に供するものとする。

(その他必要な事項)

第15条 この要領に定めるもののほか、会議の公開に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

1 この要領は、平成20年4月4日から施行する。

宇治市小中一貫教育推進協議会設置要項

(目的及び設置)

第1条 「NEXUSプラン」に示された小中一貫教育を総合的に推進するため、小中一貫教育推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(担任事項)

第2条 協議会は、次の各号に規定する事項について、意見の交換及び調整を行う。

- (1) 小中一貫教育の学校運営に関すること。
- (2) 小中一貫教育の教育課程や指導体制に関すること。
- (3) 小中一貫教育に係る施設・環境整備に関すること。
- (4) 小中一貫教育の研究に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、小中一貫教育に係る必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 委員は、次の各号に規定する者のうちから教育長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 宇治市立小学校及び中学校に在学する児童及び生徒の保護者
- (3) 地域関係諸団体代表者
- (4) 宇治市立小学校及び中学校関係者

(任期)

第4条 委員の任期は、3年とする。ただし、再任を妨げない。また、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 協議会の会議は、必要に応じて会長が招集し、会長がその議長となる。

(専門部会)

第 7 条 協議会は、必要に応じて専門部会を設置し、必要とする事項について調査、研究等を行わせることができる。

2 専門部会に部会長を置く。部会長は、会長が指名する。

3 専門部会の構成員は、部会長の推薦により、会長が指名する。

(意見の聴取等)

第 8 条 会長は、協議会において必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、その説明若しくは意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第 9 条 協議会の庶務は、教育部教育改革推進室小中一貫教育課において処理する。

(委任)

第 10 条 この要項に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

1 この要項は、平成 20 年 4 月 4 日から施行する。

2 この要項の施行後最初の協議会の会議の招集は、第 6 条の規定にかかわらず、教育長が行う。

3 平成 23 年度における最初の協議会の会議の招集は、第 6 条の規定にかかわらず、教育長が行う。

4 委嘱後最初の協議会の会議の招集は、第 6 条の規定にかかわらず、教育長が行う。

附 則

この要項は、平成 23 年 6 月 1 日から施行する。

平成 23 年度宇治市小中一貫教育推進協議会の活動概要報告

小中一貫教育に関する取組全般の進行管理を行い、改善点について意見の交換及び調整を行うために、平成 20 年度から 3 年間設置された宇治市小中一貫教育推進協議会を継続設置した。

□平成 23 年度協議会活動の概要について

○ 第 1 回〔7 月 15 日（金）〕

- 1 委嘱状交付
- 2 会長・副会長の選出
- 3 報告及び協議事項
 - (1) 宇治市小中一貫教育推進協議会の活動概要報告
 - (2) 施設一体型小中一貫校「宇治黄檗学園」の開校準備報告
 - (3) 平成 22 年度小中一貫教育「実践的研究」の到達状況報告
 - (4) 本年度の協議会の活動について
 - (5) 中学校区を単位とした全面進行の取組について

○ 取組視察（2 学期）

月 日	視察校	中学校区	視察委員数
10/21(金)	小倉小学校	北宇治中学校区	3 名
11/10(土)	西宇治中学校	西宇治中学校区	1 名
11/15(火)	宇治小学校		4 名
11/16(水)	東宇治中学校	東宇治中学校区	1 名
11/28(月)	御蔵山小学校	木幡中学校区	2 名
11/28(月)	槇島小学校	槇島中学校区	2 名
12/10(土)	宇治中学校	宇治中学校区	1 名

○ 第 2 回〔3 月 14 日（水）〕

- 1 報告及び協議事項
 - (1) 今年度の小中一貫教育推進協議会活動報告
 - (2) 中学校区を単位とした全面試行の取組状況報告
 - (3) 施設型小中一貫校「宇治黄檗学園」の開校準備報告
 - (4) 今年度の活動を振り返って
 - (5) 小中一貫教育全面実施に向けて

平成23年度小中一貫教育「全面試行」の到達状況

宇治市教育委員会小中一貫教育課

- (1) 中学校区を単位とした教育目標やめざす子ども像などの策定について
◇すべての中学校区で教育目標やめざす子ども像を策定し、協働して9年間を見通した教育活動が行えるよう基盤ができた。校区での一貫した教育指導を進めるため、小中学校の各々の学校教育目標やめざす子ども像との関連づけについて検討が始められた。今後も、引き続き検討を進めるとともに、目標やめざす子ども像をより具現化していくための系統的な教育活動を進めていく必要がある。
- (2) 中学校区を単位としたチーフコーディネーターを要とする小中一貫教育推進組織の確立について
◇すべての中学校区でチーフコーディネーターを要とする小中一貫教育推進体制が定着してきた。校区コーディネーター会議も合同行事の取組内容検討や日程調整などを行うために定期的開催がなされてきた。今後、地域や学校の特色を活かし、教職員を積極的に参画させる組織体制や内容を工夫していく必要がある。
- (3) 教職員や児童生徒の交流事業や合同行事の推進について
◇すべての中学校区で教職員や児童生徒の活発な交流活動が行われるようになってきた。小中連携は組織的にも取組内容的にも一定進みつつあるが、小小間の連携の取組も充実させ、中学校につないでいく取組を進めていく必要がある。
- (4) 教科連携教員を中心とした相互連携授業（乗り入れ授業）について
◇教科連携教員を中心に小中のつながりのある学習指導や生徒指導を行うことができるようになってきた。校区共通で生活規律・授業規律などを作成するなど、小中間をなめらかに接続させる取組も進んできている。今後、小中のつながりをなめらかにするために、小小間において学習指導や生徒指導もより緊密に連携していく必要がある。また、教科連携教員以外の教員が相互連携授業をするための方法など検討していく必要がある。
- (5) 9年間を見通した教科年間指導計画を活用した、系統的・継続的な学習指導について
◇中学校編の年間指導計画が準備できた。9年間を見通すことのできる年間指導計画（小学校）を活用し、小中の接続について交流したり、協働して指導案を作成したりする取組も見られた。通常の授業の場面で、まだまだ小中一貫教育の視点が生かし切れていない側面も見られる。
- (6) 小学校高学年で、学級担任の交換授業等を推進し、教科担当制を拡充することについて
◇学級担任の交換授業などの工夫により教科担当制を実施する小学校は昨年度に比べ増加したが、一部の学年で実施できていないところもある。学年の学級数などの条件により、学年教師による交換授業には限界があるため、複数の学年での交換授業なども含めて調整することも検討課題としてあげられる。教科担当制を一部導入することにより、授業規律などの共通理解が進み、児童を複数の目で見えて支援する体制をとれるようになってきたことは成果である。
- (7) 中学校区を単位として、いしずえ学習、宇治学の取組推進と実施計画の作成について
◇すべての中学校区で、小中学校の系統性を意識した「いしずえ学習」と「宇治学」の実施計画を準備できた。検討段階で、各小中学校の実態や特色ある取組の相互確認を行い、取組内容や時期を共通理解することができた。今後は、児童生徒の実態に合った、地域の特色を活かした、より効果的な教材の開発が必要であるとともに、小小間の連携を密にすることが課題である。
- (8) 小中一貫教育の取組状況に関する保護者や地域への積極的な情報発信について
◇すべての中学校区で小中一貫教育だよりを発行し、加えて小中一貫教育推進費を活用したリーフレットや合同行事計画表などを作成して、保護者や地域住民などに配布、回覧などを行った。昨年度に比べ、どの中学校区も広報紙発行以外にも地域行事に参加しての広報活動など多様な形で情報発信に取りくんだ。ただ、小中一貫教育そのものの内容について、保護者や地域社会の方々にもまだまだ知られていない状況にある。分散進学を抱えた地域においては、校区再編にかかる不安なども見られる。全面実施後も、目に見える形での取組による広報活動を行うなど、多様な手法で積極的に情報発信を続けていく必要がある。

平成24年度宇治市小中一貫教育推進協議会の活動について（案）

宇治市小中一貫教育推進協議会事務局

1 協議会の活動について

小中一貫教育に関する取組全般の進行管理を行い、取組内容の点検確認とともに改善点について意見の交換等を行う。

2 今年度の活動計画について

(1) 年2回の協議会開催

交流・協議による進行管理

①第1回協議会 7月12日（木）

②第2回協議会 2月～3月開催予定 [年度末 進行管理]

(2) 中学校ブロックの特色ある取組の視察

学校現場での取組視察による進行管理

中学校ブロックの取組を視察し、その後現地にて交流・協議を行う。

- ・視察受け入れ可能な取組を委員が選択し参加する。（2学期予定）
- ・学校と小中一貫教育推進協議会委員の交流・協議の場をもつ。

（管理職や小中一貫教育コーディネーター等に対応をお願いする）

※事前に、中学校ブロックに特色ある取組（合同研究会・合同発表会等小・中学校や地域が合同で行う取組）の情報提供及び協議会委員参観の依頼を行う。

今年度は、加えて、各小・中学校が行う授業参観やオープンスクールなどを利用した学校の取組状況を知る機会を設定する。

(3) プロジェクトチームの設置

必要事項の調査・研究

今年度も専門部会（一昨年度は学校運営・教育課程・地域連携の3部会を設置）については設置せず、協議会の場でさらに深く調査、研究等を必要とする事項が生じた場合にプロジェクトチームを設置する。プロジェクトチームの構成員は協議会委員の中から選出する。

平成24年度の小中一貫教育の取組について

小中一貫教育課

1 平成24年度小中一貫教育の到達目標

- (1) 中学校ブロックにおけるチーフコーディネーターを要とする小中一貫教育を推進する組織を整え、ブロックの教育目標やめざす子ども像などに基づき、義務教育9年間を見通した特色ある教育活動を計画的・継続的に進める。
- (2) 中学校ブロックにおける教職員や児童生徒の交流事業や合同事業を積極的に推進し、節々の検証活動をもとに実施計画の改善・充実を図る。
- (3) 教科連携教員を中心に相互連携授業（乗り入れ授業）を行うなど、教職員の連携・交流を推進し、小中学校間の学習指導や生徒指導をなめらかに接続させる取組の充実を図る。
- (4) 9年間を見通すことのできる教科の年間指導計画〔宇治スタンダード〕を活用し、児童生徒の発達の段階に応じた系統的・継続的な学習指導を推進する。
- (5) 小学校高学年において、学級担任の交換授業等を推進し、教科担当制を拡充する。
- (6) 中学校ブロックにおいて「いしずえ学習」「宇治学」の取組を推進し、節々の検証活動をもとに実施計画の改善・充実を図る。
- (7) 小中一貫教育の取組内容について、保護者や地域に向けて積極的に情報発信する。
- (8) 中学校ブロック独自の目標を設定

2 平成24年度の到達目標を達成するために

- (1) 「平成24年度〇〇中学校ブロック ジョイントプラン（小中一貫教育推進計画）」の作成
平成24年度小中一貫教育の到達目標に基づき、中学校ブロックの推進計画を作る。
 - ① 平成23年度の小中一貫教育「全面試行」の取組状況を分析する。
 - ② 平成24年度の取組課題をまとめ、具体的な取組計画を立てる。
- (2) 「平成24年度〇〇中学校ブロック ジョイントプラン（小中一貫教育推進計画）」の実施
- (3) 中学校ブロックごとのコーディネーター会議等でプラン実施の進行管理
- (4) 「平成24年度〇〇中学校ブロック ジョイントプラン（小中一貫教育推進計画）」の検証・改善

中学校 ブロック	重点課題	具体的取組(実施計画)	組織図
宇治中 宇治中 菟道小 菟道第二小	<p>◆「家庭学習の手引き」の活用 ◆教科連携教員・AETを活用した小学校外国語活動の充実 ◆「いしずえ学習」プログラムの活用</p> <p>児童生徒の交流 ◆「ふるさと学習(宇治学)」の実施・検証 ◆小中一貫した授業スタイルや生活規律の実施・検証 ◆小学生の部活動体験の充実 ◆地域との連携 ◆人権・道徳教育の充実 ◆職員研修の充実</p>	<p>1教職員の交流 ◆宇治中学校区合同研修会(6/29、8/20、11/28、2/27) ◆小中合同公開授業(人権学習等) ◆小中教科連携教員による小学校外国語活動の指導</p> <p>2児童生徒の交流 ◆小学生の中学校半日体験入学(11/8) ◆中学生の小学校における職場体験(6/12~14) ◆中学生による2小学校児童への駅伝指導 ◆中学生による菟道小児童へのマーチング指導 ◆中学校吹奏楽部の菟道第二小での演奏 ◆「ふるさと宇治21」での、中学校部活動体験 ◆夏休み地域学校における各校の児童会・生徒会の交流(7/27) ◆中学生による6年生への卒業メッセージの作成・授与 ◆各小学校における中学校各部による出前部活動体験</p> <p>3保護者・地域住民も交流 ◆「ふるさと宇治21」行事(年2回)に参加 ◆宇治橋通り「にぎわいフェスタ」における作品展等での交流 ◆宇治市福祉パレードで菟道小学校鼓隊と宇治中学校吹奏楽部が参加</p> <p>4いしずえ学習・宇治学 ◆専門部会(宇治学部会)における交流・指導内容及び方法の検証 ◆専門部会(いしずえ学習部会)における交流・指導内容及び方法の検証</p> <p>5保護者・地域への啓発 ◆小中一貫教育校たよりの発行 ◆小中一貫教育啓発掲示板の活用(各小中学校に設置し、各小中学校の学校便り等を掲示) ◆学校紹介パネルの作成 ◆学校ホームページにおける小中一貫教育の紹介</p>	<p>2小1中校長会 ↓ 小中一貫教育事務局会議(推進部) コーディネーター会議</p> <ul style="list-style-type: none"> たしまいみらい応援部 <ul style="list-style-type: none"> 生徒指導部会 教育相談部会 特別支援教育部会 宇治学部会 地域連携部会 たしかなみらい応援部 <ul style="list-style-type: none"> 授業づくり部会 外国語・英語部会 いしずえ学習部会 学習の手引き部会 ゆたかなみらい応援部 <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒交流部会 特別活動部会 道徳部会 人権学習部会
北宇治中 北宇治中 小倉小 北小倉小	<p>1 小中一貫教育を推進する組織力の向上 2 小中学校の教員が授業を通してつながる工夫 3 保護者や地域住民が学校教育に積極的に関われる体制づくり</p>	<p>1教職員の交流 ◆推進委員会(月1回程度) ◆合同研修会(学期1回) ◆小中連絡会(5/14) ◆中学校教員による小学校授業参観[小倉小学校](5/23) ◆小学校教員による中学校授業参観[北宇治中学校](6/11) ◆小中一貫教育研究推進委員会第1回総会[北宇治中学校](6/11) ◆3校の代表者による連絡・調整[学習指導案原案の作成](7月上旬) ◆3校の教科外部会の代表者打合せ[分散会の柱立て](7月上旬) ◆小中一貫教育研究推進委員会第2回総会兼小中合同研修(8/22) ◆中学校教員による小学校授業参観[北小倉小10/17・小倉小10/26] ◆小中一貫教育研究推進委員会第3回総会(2/18)</p> <p>2児童生徒の交流 ◆小学生体験入学[北宇治中学校](11/8) ◆児童会、生徒会交流[北宇治中学校](1/21)</p> <p>3保護者・地域住民も交流 ◆オープンスクール[北宇治中学校](年間3回 6/18~6/22、11/5~11/10、2/18~2/22) ◆オープンスクール[小倉小学校](11/10) ◆クリーン運動[北宇治中学校](10/27) ◆小学生体験入学[北宇治中](11/8) ◆年間複数回のフリー参観[小倉小学校・北小倉小学校]</p> <p>4いしずえ学習・宇治学 ◆3校の教科外部会の代表者打合せ[分散会柱立て](8月上旬) ◆小中合同研修会での報告[北宇治中学校](8/22) ◆「中学校へのパスポート」配布(3月)</p> <p>5保護者・地域への啓発 ◆新入生保護者説明会[北宇治中学校](11/27) ◆就学児童半日入学及び保護者説明会[小倉小学校](1/31) ◆就学児童半日入学及び保護者説明会[北小倉小学校](2/1)</p>	<p>2小1中合同研究部</p> <p>北宇治中学校区 小中一貫教育研究推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長部会 ・教頭部会 ・コーディネーター会 ・一貫推進部会 <p>○教科部会 (合同授業研で実施する教科・領域)</p> <p>○教科外部会 ・生徒指導 ・教育相談 ・特別支援教育 ・児童生徒会交流 ・学力充実部会 「いしずえ学習」 「宇治学」部会</p> <p>○養護教員部会</p> <p>○事務職員部会</p>
榎島中 榎島中 榎島小 北榎島小	<p>◆教科・領域での様々な学習場面や生徒指導、特別支援教育等での系統的・統一的な指導の充実を図り、小中一貫教育目標を実現するための具体的な取組を推進する。また、中学校ブロックで家庭・地域・学校間で連携する取組を積極的に進める。</p>	<p>1教職員の交流 ◆小中合同研修会8/20 ◆小中合同部会・教科部会 ◆小中合同公開授業研究会 ◆小学校授業公開5/23 ◆中学校授業公開6/22 ◆小中連絡会6/12・1月・3月 ◆榎島中学校ブロック教務主任会8・2月 ◆小中一貫教育連携教員(榎島中学校教員)による外国語活動の指導 ◆チーフCoによる2小学校の授業サポート ◆中学校振り返り集中学習への小学校教員の支援7・8月</p> <p>2児童生徒の交流 ◆小学生の中学校体験入学11/8 ◆中学生の職場体験10/23~25 ◆陸上運動交歓記録会10/10 ◆小・中学生の主張交流会3月 ◆児童会・生徒会の交流 ◆北榎島小学校創立30周年記念行事11/10 ◆榎島小学校130周年記念行事2/2</p> <p>3保護者・地域住民も交流 ◆北榎島小学校区青少年健全育成協議会「夏祭り」8/5 ◆北榎島小学校区餅つき&クリーン運動1/19 ◆榎島小学校左義長1月 ◆3校のPTA役員の交流や合同行事の設定</p> <p>4いしずえ学習・宇治学 ◆「いしずえ学習」実施計画の実践による家庭学習を含めた学力定着サイクルの確立と家庭との連携の強化 ◆「宇治学」実施計画の実践・検証による内容の充実</p> <p>5保護者・地域への啓発 ◆各校学校便りや小中一貫教育の取組を積極的に掲載 ◆配布物に小中一貫教育目標やめざす子ども像を掲載 ◆「榎島中学校ブロック小中一貫教育便り」の発行 ◆学校だより・「榎島中学校ブロック小中一貫教育便り」の地域回覧 ◆中学校の学校便りを小学校6年生児童、保護者に配布 ◆家庭学習ナビゲーション(家庭学習の手引き)の配布による家庭との連携強化</p> <p>6その他 ◆榎島小学校の分散進学が残る状況を踏まえ、1小1中で進める取組と2小1中で進める取組を整理しながら進める。</p>	<p>「夢・未来」会議 校長、教頭、教務主任、 小中一貫教育コーディネーター</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育連絡会 特支コーディネーター 特支学級担任 教育相談担当 生徒指導連絡会 生徒指導主任+α (生徒指導部) 教育課程検討委員会 教務主任 小中一貫教育コーディネーター 教科部会 国語、算数・数学、 外国語活動・英語 他 <p>※3教科以外の教科・領域部会も設定し、小中の系統的な指導を追究</p>

中学校 ブロック	重点課題	具体的取組(実施計画)	組織図
<p>西小倉中 西小倉中 西小倉小 南小倉小</p>	<p>(1)「外国語活動(英語)」を核とした教科学習の小中のスムーズな連携の研究推進 (2)宇治学(総合的な学習の時間)の9年間を見通した計画の推進 (3)小中学校教師が連携して行う「いしずえ学習」の実施、「家庭学習の手引き」の活動推進 (4)小中学校が一貫して行う生徒指導の取組 (5)児童会・生徒会を軸とした児童生徒の交流 (6)地域保護者への積極的な情報発信 (7)小中一貫した「生活のきまり」や「学習のルール」を確立するとともにその定着を図る</p>	<p>1教職員の交流 ◆西小倉中学校ブロック合同研修会(8/21) ◆小中合同効果授業研究会(5月・6月・11月) ◆小中連携加配教員による英語の指導(通年) ◆中学教員による小学校指導 ◆チーフコーディネーターによる各校訪問</p> <p>2児童生徒の交流 ◆小学生の中学校体験入学(2月) ◆中学生による小学校の駅伝指導(3月) ◆中学校合唱コンクールを小学生が見学(10月) ◆児童会役員と生徒会役員の合同事業の実施</p> <p>3保護者・地域住民も交流 ◆「ふるさと事業(世代間交流)夏祭り」に中学生が参加 ◆地域住民、保護者、小学生、中学生が協力して地域クリーン運動を実施 ◆西小倉地域福祉祭りに中学生が参加 ◆敬老のつどいに中学生が参加 ◆各小学校の「子どもの居場所づくり事業」に中学生が参加</p> <p>4いしずえ学習・宇治学 ◆基礎基本の徹底や振り返り学習を行うにあたり、随時いしずえ学習を取り入れる ◆西小倉中学校ブロックを単位とした宇治学の指導計画に基づく活動を推進する ◆「家庭学習手引き」の活用</p> <p>5保護者・地域への啓発 ◆各校の学校だよりにより小中一貫教育コーナーを作り毎月取組を掲載 ◆小中一貫教育推進ニュースの発行(小・中学校の保護者配布、地域へ回覧) ◆西小倉中ブロック共通のホームページに小中一貫推進ニュースを配信する</p>	<p>小中一貫教育推進委員会 ・各校校長・教頭・教務主任 ・各校コーディネーター ・小中連携加配教員</p> <p>□学習に係わる部会 ・外国語活動 ・いしずえ</p> <p>□宇治学(総合的な学習の時間)に係わる部会 ・宇治学</p> <p>□生徒指導・特別活動に係わる部会 ・特別活動 ・生徒指導</p>
<p>西宇治中 西宇治中 伊勢田小 神明小</p>	<p>進路指導を見据え学力向上の取り組みを基本に置く</p> <p>(1)合同研修会各教科部会の充実と発展・公開授業研究会の実施 (2)3部会機能の活性化 (3)小中連携の充実(中学進学に向け、共通取組による実態改善)</p>	<p>1教職員の交流 ◆西宇治中学校ブロック合同研修会(8/22、11月、2月) ◆小中合同公開授業(11月) ◆3部会(児童生徒理解部会、学力充実部会、児童生徒交流部会)の開催 ◆小中合同の講演型研修会(6/25)</p> <p>2児童生徒の交流 ◆職場体験 ◆中学生による小学生への駅伝指導(2学期) ◆中学校合唱コンクールリハーサル参加(2学期) ◆小学生の中学校体験(授業体験・校時体験を含めて) ◆NISシンボルマークの作成</p> <p>3保護者・地域住民も交流 ◆各地域行事の紹介・参加(夏祭り・左義長等) ◆地域懇談会を活用して西宇治ブロックとしての小中一貫教育実践報告</p> <p>4いしずえ学習・宇治学 ◆西宇治中ブロックとしての「家庭学習のてびき」作成 ◆ふり返りスタディーへの小学校からの支援 ◆中学校ブロックで作成した「宇治学」実施計画に基づき実施・検証</p> <p>5保護者・地域への啓発 ◆広報誌発行(小中学校保護者配布、地域へ配布) ◆小中一貫教育啓発掲示板の充実(校門外への統一掲示板の設置) ◆各校の学校だよりを他校へ配布(小5、小6、中1を対象)</p>	<p>西宇治中学校ブロック 小中一貫教育推進会議</p> <p>役員会(西宇治中ブロック校長部会) ←地域連携推進(教頭部会)</p> <p>コーディネーター部会</p> <p>[3部会] ○児童生徒理解部会 生徒指導 特別支援 教育相談</p> <p>○学力充実部会 国語、社会、算数・数学 理科、音楽、家庭・技術 図工・美術、体育 宇治学、外国語・英語</p> <p>○児童生徒交流部会 西宇治中生徒会 伊勢田小児童会 神明小児童会</p>
<p>南宇治中 南宇治中 西大久保小 平盛小</p>	<p>◆小中連携参観を各校で実施し、授業改善を図る。 ◆児童生徒交流の取組の充実を図る。 ◆教科のつながりを重視した研修会を持ち、小中のスムーズな接続につなげる。</p>	<p>1教職員の交流 ◆小中連携参観(5/16、5/24、6/25) ◆小中合同研修会(5/16、6/25、8/22) ◆部会(5/24、8/22) ◆小中連携加配教員による理科の指導(通年)</p> <p>2児童生徒の交流 ◆児童会・生徒会交流会議(学期に1回) ◆小学校行事に中学校部活(吹奏楽部・中国文化芸術部)参加(年間数回) ◆中学生による部活指導(10～11月) ◆駅伝指導交流(10～11月) ◆小学生の中学校部活体験(12月) ◆児童・生徒作品の相互展示交流(通年)</p> <p>3保護者・地域住民も交流 ◆あいさつ運動(未定) ◆地域清掃ボランティア活動(未定)</p> <p>4いしずえ学習・宇治学 ◆補充学習校種間指導交流(夏期休業中) ◆中学校区を単位とした「宇治学」カリキュラムの見直し ◆小学校での春休み課題の実施と中学校での活用</p> <p>5保護者・地域への啓発 ◆小中一貫教育だよりの発行(保護者配布及び地域回覧)</p> <p>6その他 ◆教職員向け小中一貫教育だよりの発行</p>	<p>推進委員会 校長・教頭 コーディネーター兼教務主任 部長</p> <p>コーディネーター会議 (教務部会)</p> <p>(領域) 児童生徒理解部</p> <p>(教科) 学力充実(いしずえ)</p> <p>国語部 算数・数学部</p> <p>外国語活動・英語部</p> <p>(特設) 宇治学部 連携授業部 事務部 養護部</p>

中学校 ブロック	重点課題	具体的取組(実施計画)	組織図
<p>広野中</p> <p>広野中 大久保小 大開小</p>	<p>◆宇治ひろの学園小中一貫教育研究会の円滑な運営</p> <p>◆年間の進め方の整理(5月:総会、8月:合同研修会、3月:総会)</p> <p>◆各部会の独自性による取組進行</p> <p>◆児童生徒の交流の充実</p> <p>◆伝え合う力の育成のための教育活動の取組</p>	<p>1教職員の交流 ◆宇治ひろの学園小中一貫教育研究会の開催(5/14:総会、8/20:合同研修会、3月予定:総会) ◆各部会の開催 ◆中学校の部活動への小学校教員の参観など</p> <p>2児童生徒の交流 ◆HOT=MEETING(3校合同児童生徒会)の実施(年3回程度) ◆3校でのエコキャップ・ブルトッパ回収 ◆広野中ちよいボラへの大開小児童の参加 ◆3校合同あいさつ運動の実施 ◆中学生が小学校低学年への絵本の読み聞かせ など</p> <p>3保護者・地域住民も交流 ◆大久保青少協子ども主張大会(2月) ◆3校合同の地域懇談会(7月) など</p> <p>4いしずえ学習・宇治学 ◆3校での朝読書の実施や中学1年生での振りスタの実施(いしずえ) ◆7年間の年間計画の試行調整と実施(宇治学) など</p> <p>5保護者・地域への啓発 ◆宇治ひろの学園及び3校のホームページの更新 ◆3校の学校便り等での情報発信</p>	<p>宇治ひろの学園 小中一貫教育研究会 (事務局)</p> <p>学校運営部会</p> <p>学力部会 児童生徒理解部会 児童生徒交流部会 その他の部会</p>
<p>東宇治中</p> <p>東宇治中 南部小 三室戸小 岡屋小 宇治小</p>	<p>◆積極的にコーディネーター会議を実施し取組内容を検討する。</p> <p>◆チーフコーディネーターを小中一貫教育に関わる企画、立案及び関係校の調整、広報、地域連携等の業務に有効に活用する。</p> <p>◆平成23年度の取組状況を基に中学校区を単位とした小中一貫教育の取組を進める。</p> <p>◆小・中学校間の指導を円滑に接続させるため、計画的な教科連携教員の活用を図る。</p> <p>◆小学校高学年で、チームによる指導を行い、教科担当制を進める。</p> <p>◆中学校区を単位として、いしずえ学習、宇治学の実施計画を進める。</p> <p>◆小中一貫教育の実践について保護者や地域に向けて情報発信をする。</p>	<p>1教職員の交流 新規:◆中学校ふり返りスタディーへの小学校教員の支援参加 継続:◆推進3部会(5/21他適宜) ◆小中連絡会(5/22) ◆東宇治中学区合同研修会(8/22)</p> <p>2児童生徒の交流 新規:◆小中学生による主張大会の開催 継続:◆小学生の中学校体験入学(11/14) ◆花植えボランティア ◆中学生による駅伝指導 ◆エコキャップ回収 ◆クラブ交流</p> <p>3保護者・地域住民も交流 新規:◆合同の保護者(PTA・育友会)研修会の開催 継続:◆地区懇談会(7月) ◆東宇治コミセンまつり(11月) ◆おおぼくまつり参加(12月)</p> <p>4いしずえ学習・宇治学 継続:◆補習時間、自主学習いしずえ学習プリントを活用 ◆年間指導計画に基づき宇治学を実施</p> <p>5保護者・地域への啓発 新規:◆リーフレット(スクールライフサポートブック)の配布 継続:◆小中一貫だよりの発行(小中学校の保護者配付、掲示) ◆ブロック校の学校だよりを学校内掲示</p>	<p>東宇治ブロック推進委員会 役員会(校長会)</p> <p>教頭会</p> <p>チーフコーディネーター ・コーディネーター部会</p> <p>【推進3部会】 — 児童生徒交流部会 — 児童生徒理解部会 — 教科部会</p> <p>— 宇治学部会 — 道徳部会 — 算数・数学部会 — 国語部会 — 社会部会 — 理科部会 — 外国語部会 — 芸術部会 — 保体部会</p>
<p>木幡中</p> <p>木幡中 御蔵山小 木幡小 笠取小 笠取第二小</p>	<p>◆木幡中学校区小中一貫教育推進委員会を中心に組織的な取組を行う。</p> <p>◆取組計画を立て、小中学校の教員が同じ目標で学習指導や生徒指導を行う。</p> <p>◆小中合同で授業研究を進める。</p> <p>◆小中教員による相互参観や研究会への参加。</p> <p>◆保護者、児童生徒、教職員、地域への啓発活動の活発化。</p>	<p>1教職員の交流 ◆木幡中学校ブロック小中合同研修会(5/14、8/20、11/26) ◆小中合同公開授業研究会(6/20、10/31、11/26、2/20) ◆小中連携加配教員による理科の指導(4小学校通年) ◆小中連絡会の実施(5/21) ◆小学校教員の中学校合唱コンクールへの審査員参加(10/12) ◆宇治市へき地・小規模校教育研究会への参加(11/7)</p> <p>2児童生徒の交流 ◆小学生の中学校体験入学(11/14) ◆中学生による小学生への駅伝指導(2学期) ◆中学校吹奏楽部による小学校での発表交流(4/21、6/9、7月) ◆中学生による小学校の運動会の運営補助(9/16、9/23) ◆中学校美術部による小学校作品展への出展展示(1/31～、2/20～) ◆三校交流による小中連携の取組(6/26、11/20) ◆小中連携授業(理科)を通して交流できる取組(6/28) ◆英語学習などで小中高の児童生徒が交流できる取組 ◆小中学校の児童会生徒会役員合同会議</p> <p>3保護者・地域住民も交流 ◆ブロック小中学校の授業、運動会(体育大会)、文化祭、学習発表会等を教職員保護者が相互参観(2学期) ◆おもろいやんか木幡への参加(11/11)</p> <p>4いしずえ学習・宇治学 ◆「いしずえ学習」の内容をさらに細かく検討する ◆中学校区を単位とした「宇治学」の指導計画に基づいて実施</p> <p>5保護者・地域への啓発 ◆小中一貫教育通信(保護者、児童生徒向け)の定期(月刊)発行 ◆小中一貫教育通信(教職員向け)の定期(月刊)発行 ◆各校の学校だよりに小中一貫コーナーを設ける ◆中学校の「生活だより」を全6年生へ配布(月刊) ◆各小中学校の学校だよりを小中全教職員に配布(月刊) ◆全小中学校の掲示板に「小中一貫コーナー」を設置し各発行物を掲示する</p> <p>6その他 ◆小中学校の児童生徒、教職員、保護者対象にアンケート調査を行い、実態把握して小中のスムーズな接続、学校評価に生かす</p>	<p>ブロック校長会</p> <p>ブロック教頭会</p> <p>小中一貫教育推進委員会 兼コーディネーター会議</p> <p>○教科部会 ・国語部会 ・社会・生活部会 ・算数・数学部会 ・理科・生活部会 ・音楽部会 ・図工・美術・技家部会 ・保健体育部会 ・外国語・英語部会</p> <p>○領域部会 ・児童生徒理解部会 ・学力充実・いしずえ部会 ・学力充実部会 ・連携・交流部会</p>

中学校 ブロック	重点課題	具体的取組(実施計画)	組織図
<p>黄檗中 宇治小</p>	<p>◆9年間の学びを通じた自己実現力の育成 ～ステージに応じた学習指導評価を通じた授業改善～</p>	<p>1教職員の交流 ◆小中連絡会(6月、3月) ◆宇治黄檗学園一斉研修会(8/22) ◆中学校教員による外国語活動の指導(通年) ◆中学校教員による音楽科授業の指導(通年) ◆校務分掌組織の一本化 ◆全教員が特設部会に所属 ◆特設部会、教科・領域等部会(随時)</p> <p>2児童生徒の交流 ◆1年生歓迎集会(4/26) ◆学園体育大会(10/27) ◆大縄大会(1月) ◆創立140周年記念文化・学習発表会(仮称)(1/19) ◆6年生を送る会(3月) ◆部活体験 ◆学園会(児童・生徒会)組織づくり</p> <p>※この他にも、施設一体型小中一貫校の特色を生かす取組を随時検討、実行していく。</p> <p>3保護者・地域住民も交流 ◆宇治小学校創立140周年記念子どもフェスティバル(12/1) ◆おもろいやんか木幡(11/11) ◆おおぼくまつり(12/2) ◆宇治小学校創立140周年記念事業(1/19)</p> <p>4いしずえ学習・宇治学 「宇治学」 きずな科…異年齢集団興味・関心課題探求活動 ◎第7学年～第5学年のグループで課題探求活動に取り組む ◎第7学年をリーダーとする異年齢グループで活動する ◎興味・関心課題をグループ毎に選択ー探究活動ーまとめー発表・発信する 「23年度実施取組テーマ」は地理旅の計画・世界の国々・朗読・体育・福祉・歴史・数・働く・乗り物・科学 計11コース</p> <p>「いしずえ学習」 【宇治小学校】 ○朝学習(毎日始業前10分間の「いしずえタイム」全児童対象(読書を含む国語と算数の基礎的基本的な学習)学級単位で原則担任が指導する) ○「ぐんぐんタイム」の設定(2～7年生)(週1回、5校時の日に行う) ○算数の授業開始時に3分間の計算タイムを入れる(学年で単元の学習計画との兼ね合いで実施を検討)</p> <p>【黄檗中学校】 ○朝学活の中の「いしずえタイムⅠ」で、読書などの活動を行う ○昼食後の「いしずえタイムⅡ」で、国・数・英を中心として個に応じた小学習を行う ○部活のない曜日の放課後に「ぐんぐんタイム」(学生ボランティアの活用等) ○ふりスタ(夏季休業中に、抽出・希望生徒対象、学年、学生ボランティア等全校体制で行う) ○定期テスト前の放課後の個別支援学習(学年教師、学生ボランティアで)</p> <p>5保護者・地域への啓発 ◆「小中一貫教育」研究 学校公開(2月中旬) ◆学校だより等の地域回覧 ◆HPでの取組内容の紹介</p>	<p>校長 副校長 教頭 教頭 教務部 研究部 指導部 総務部</p> <p>企画委員会・前期主任会・中期主任会を設置し、ステージ毎の学習内容・生徒指導についての意見交換、指導方針の確認等を行う</p> <p>施設一体型小中一貫校として、小学校と中学校の組織を一体化している</p>

平成24年度ジョイントプラン ブロック独自に設定した達成目標一覧

平成24年5月31日集計

中学校ブロック名	ブロック独自に設定した達成目標
宇治中学校ブロック	小学生の部活動体験を充実
北宇治中学校ブロック	つながりを深めよう ～組織を・授業を・地域と～
槇島中学校ブロック	地域でつながり、共に支え合い、高め合う子を育てる
西小倉中学校ブロック	生徒指導上の問題を明らかにし、学習規律の徹底・充実
西宇治中学校ブロック	進路指導を見据えた学力向上の取組を基本に置く
南宇治中学校ブロック	三校で相互に授業参観をそれぞれ実施し、それをもとに授業改善を図り、小中のスムーズな接続につなげる
広野中学校ブロック	異学年交流と言語活動の充実
東宇治中学校ブロック	教科指導、生徒指導、行事等における取組について、ブロック4校の教職員全員がより意欲をもって実践および指導ができる
木幡中学校ブロック	小中教員のつながりの強化と一体となつての授業研究をすすめる
黄檗中学校ブロック	施設一体型小中一貫校として、施設の特徴を活かし、前期・中期・後期のステージ毎の学びを大切にする

「小中一貫教育に係る意識等調査（児童生徒・保護者・学校）」実施要項

宇治市教育委員会

小中一貫教育課

1. 目的

平成 24 年度から小中一貫教育を全面的に実施するなか、本市が進める小中一貫教育を含めた学校教育に関する児童生徒、保護者の意識や意向、学校の状況などを把握し、小中一貫教育校及び小中一貫校の教育推進に活用するとともに、本市学校教育の推進及び今後の教育施策の参考に資する。

2. 調査内容

「小中一貫教育についてのアンケート」

- (1) 児童生徒対象（児童用・生徒用）
- (2) 保護者対象（小学校保護者用・中学校保護者用）
- (3) 学校対象（小・中学校共通）

※意識調査項目の作成にあたり重視した事項及び参考とした資料

- ・宇治市の小中一貫教育のねらい（7項目）
- ・平成 24 年度宇治市教育の重点にある「義務教育 9 年間を見通した小中一貫教育の推進」重点事項、及び年度当初に小中学校に提示した「平成 24 年度小中一貫教育の到達目標」

3. 対象

- (1) 宇治市立全小学校 第 4～6 年の各学年 1 クラスの児童と保護者
- (2) 宇治市立全中学校 第 1・2 年の各学年 1 クラスの生徒と保護者
- (3) 宇治市立全小・中学校

4. 調査実施時期

児童生徒、保護者及び学校とも、平成 24 年 6 月 18 日（月）～7 月 6 日（金）
〔学校ごとに行事等学校事情を踏まえて実施〕

5. 調査方法

- (1) マークシート方式
- (2) 学校配布・回収（保護者対象のアンケートは個別封筒を使用して回収）

6. 調査結果処理及び公表等

- (1) 市教委提出 平成 24 年 7 月 20 日（金）〆切
- (2) 調査集計期間 平成 24 年 7 月中旬～平成 24 年 9 月上旬
- (3) 公表予定時期 平成 24 年 12 月頃
- (4) 調査結果処理及び公表
 - ・意識調査の集計及びまとめ報告の作成
 - ・宇治市小中一貫教育推進協議会及び教育委員会、議会に報告
 - ・保護者等にまとめ概要を公表

7. 今後の方向性

今回の意識調査項目を基本に、今後節々に調査を行い、児童生徒、保護者の意識、学校の状況等の経年比較を行う。次回の調査時期については、今後検討する。

13項目 児童生徒	14項目 保護者	19項目 学校
*所属学年 (小4～小6、中1・中2)	*所属学年 (小4～小6、中1・中2)	*校種 (小・中学校)
*ねらい〔手法に関して⑦〕 ①系統的・継続的な学習指導 ②系統的・継続的な生徒指導 ③地域に根ざした特色ある教育活動 ④児童生徒の交流活動、地域社会との交流 ⑤児童生徒理解 ⑥教職員の相互交流 ⑦地域社会、保護者相互の連携 ↓ (①～⑦の具体的な設問)	*ねらい〔手法に関して⑦〕 ①系統的・継続的な学習指導 ②系統的・継続的な生徒指導 ③地域に根ざした特色ある教育活動 ④児童生徒の交流活動、地域社会との交流 ⑤児童生徒理解 ⑥教職員の相互交流 ⑦地域社会、保護者相互の連携 ↓ (①～⑦の具体的な設問)	*ねらい〔手法に関して⑦〕 試行により～ ①系統的・継続的な学習指導 ②系統的・継続的な生徒指導 ③地域に根ざした特色ある教育活動 ④児童生徒の交流活動、地域社会との交流 ⑤児童生徒理解 ⑥教職員の相互交流 ⑦地域社会、保護者相互の連携 ↓ (①～⑦の具体的な設問)
①授業は、これまで習ったこと(事)やこれから習うこと(事)にもふれて進められていると思う。	①授業で、これまで習った事や今後習う事にもふれるなど、学習内容のつながりを意識してほしいと思う。	①小中一貫教育の試行により、9年間を見通した系統的・継続的な学習指導を意識するようになった。
②〔小学校〕担任の先生だけでなく、他の学級や学年の先生など多くの先生と話したりすることが多くなっていると思う。 〔中学校〕担任の先生だけでなく、他の学級・学年の先生や小学校の先生など多くの先生とかかわることが多くなっていると思う。	②担任や学年の先生に限らず、他学年の先生など多くの先生と我が子がかかわりを持つようになってほしいと思う。	②小中一貫教育の試行により、9年間を見通した系統的・継続的な生徒指導を意識するようになった。
③地域を知ったり、地域の人たちといっしょに活動したりする学習が多くなっていると思う。	③地域の方を先生として招いたり校区の良さを知る活動など、地域と結びついた教育活動を計画的に行ってほしいと思う。	③小中一貫教育の試行により、9年間を見通し、地域に根ざした特色ある教育活動を行うようになった。
④〔小学校〕他の学年や近くの小学校、中学校の人といっしょに活動するようになっていっていると思う。 〔中学校〕他の学年や近くの小学校の人といっしょに活動するようになっていっていると思う。	④異学年交流や小・中学校との交流を多くしてほしいと思う。	④小中一貫教育の試行により、児童生徒間の交流活動や地域社会との交流を行うようになった。
⑤自分のことを先生がしっかりわかってくれるようになったと思う。	⑤先生は、我が子のことを多方面から深く理解してくれるようになったと思う。	⑤小中一貫教育の試行により、児童生徒一人一人への理解が深まった。
⑥小学校(や中学校)の先生たちが、授業をしてくれたり、参観してくれたりするようになったと思う。	⑥小・中学校の先生がいっしょに授業参観したり、研修をしたりして交流を深めてほしいと思う。	⑥小中一貫教育の試行により、小・中学校教職員間の交流が深まった。
⑦小・中学校がいっしょになった地域での行事やPTA・育友会行事がふえたと思う。	⑦中学校ブロックでの地域の集まりやPTA・育友会活動が増えたと思う。	⑦小中一貫教育の試行により、中学校ブロックを単位とした地域社会・保護者相互の連携が深まった。
—	—	*中学校ブロックにつくられている推進組織は、小中一貫教育の推進に役立っている。
—	—	*各校の小中一貫教育コーディネーターの役割は、小中一貫教育の推進に役立っている。
—	—	*中学校ブロックの教科連携教員・小中連携加配教員の役割は、小中一貫教育の推進に役立っている。
—	—	*中学校ブロック内の授業や指導の様子を参観することは、児童生徒理解や自校での指導に役立っている。
—	—	*中学校ブロックで行う合同研修会は、児童生徒理解や自校での指導に役立っている。
* (小学生でも、)担任以外の先生や中学校の先生にも教えてほしいと(教えてもらった方がよい)と思う。	*小学校でも、担任以外の先生や中学校の先生にも我が子を指導してほしいと思う。	*中学校ブロックの体制や条件を整えば、他校で授業や部活動などの指導をしてもよい。
*小・中学校がいっしょになって行事などをすることに心配はない。	*小中一貫教育を行うことに不安や戸惑いはない。	*小中一貫教育を行うことに不安や戸惑いはない。
*近くの小学校(や中学校)のようすが、おたより(「学校通信(たより)」)や掲示物などでわかるようになった。	*リーフレットやたより、インターネットなどで、宇治市の小中一貫教育の取組状況を知ることができている。	*市教委や中学校ブロックなどが発行するリーフレット(小中一貫教育だより)などは、小中一貫教育の取組全般について保護者や地域住民に広報することに役立っている。
*小学生と中学生がいっしょに活動することは大切だと思う。	*我が子の成長にとって、小学生と中学生の交流活動や合同行事などを行うことはよいことだと思う。	*小・中学生の交流活動や合同行事は教育的に有効である。
〔小学生〕上級生や中学生を、すごいと感じるようになった。 〔中学生〕小学生に対して、中級生としての自信と自覚ができた。	*我が子は交流活動などを通して、上級生をよき兄、姉と感じたり、よき兄、姉になろうとしたりするようになったと思う。	*小中一貫教育により、自尊心が育つと考える。
〔小学生〕中学校入学に向け、心配や不安に思うことはありませんか。次の中からあてはまるものをすべて選んでマークをぬりつぶしてください。(複数回答可) 〔中学生〕中学校入学直後、悩んだり、とまどったりしたことはありませんか。次の中からあてはまるものをすべて選んでマークをぬりつぶしてください。(複数回答可)	〔小学生保護者〕お子さんの中学校入学に向け、保護者として心配や不安に思っておられることはありませんか。次の中からあてはまるものをすべて選んでマークをぬりつぶしてください。(複数回答可) 〔中学生保護者〕お子さんが、中学校入学直後、悩んだり、戸惑っていたと感じたことはありませんか。次の中からあてはまるものをすべて選んでマークをぬりつぶしてください。(複数回答可)	*いわゆる中1ギャップを感じることもある。
【選択肢】 ①中学校での友だち関係 ②中学校での部活動 ③中学校での先輩との関係 ④教科によって教える先生が違う ⑤学習の進め方や定期テスト(小学生はテスト) ⑥授業時間(小学校45分・中学校50分)の違い ⑦その他 ⑧特にない	【選択肢】 ①中学校での友だち関係 ②中学校での部活動 ③中学校での先輩との関係 ④教科によって教える先生が違う ⑤学習の進め方や定期テスト ⑥授業時間(小学校45分・中学校50分)の違い ⑦その他 ⑧特にない	
—	*小中一貫教育の取組を進めることにより、子どもたちや学校などにどのような成果が現れることを期待されますか。次の項目の中で、あてはまるものをすべて選んでマークをぬりつぶしてください。(複数回答可)	*小中一貫教育を行うことにより、どのような成果を期待しますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでマークをしてください。(複数回答可)
—	【選択肢】 ・学力の充実 ・学習習慣の確立 ・個性の確立 ・社会的な資質や能力・態度の育成 ・地域に貢献できる人材の育成 ・豊かな人間性や社会性の育成 ・個に応じた指導や支援の充実 ・教職員の資質と指導力の向上 ・学校・家庭・地域社会が一体となった教育環境づくりの推進 ・特にない	【選択肢】 ・学力の充実 ・学習習慣の確立 ・個性の確立 ・社会的な資質や能力・態度の育成 ・地域に貢献できる人材の育成 ・豊かな人間性や社会性の育成 ・個に応じた指導や支援の充実 ・教職員の資質と指導力の向上 ・学校・家庭・地域社会が一体となった教育環境づくりの推進 ・特にない

小中一貫教育についてのアンケート【小学生用】

このアンケートは、日頃(ひごろ)思っていることやおこなっていることなどについてたずねるものです。テストではありませんので、あなたが思ったとおりに教えてください。

それぞれの質問(しつもん)の回答(かいとう)は、あてはまるところのマーク をぬりつぶしてください。

: なにもぬりつぶしていないマークの例(れい) : 正しいぬりつぶしの例(れい)

: 正しくないぬりつぶしの例(れい)

回答(かいとう)は、Bまたは2Bの黒鉛筆(くろえんぴつ)を使(つか)い、こく、はっきりとぬりつぶしてください。用紙(ようし)をよごしたり、用紙(ようし)をおったりしないように注意(ちゅうい)してください。

(1) あなたの学年は？

1: 小学4年生

2: 小学5年生

3: 小学6年生

(2) 次の質問1～12について、あなたの考えやようすにもっとも近いものを1つずつ選んでマークをぬりつぶしてください。

	そう思う	おおむね そう思う	あまり思わ ない	思わない	わからない
1 授業は、これまで習ったことやこれから習うことにもふれて進められていると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 担任(たんにん)の先生だけでなく、他の学級や学年の先生など多くの先生と話したりすることが多くなっていると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 地域(ちいき)を知ったり、地域(ちいき)の人たちといっしょに活動したりする学習が多くなっていると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 他の学年や近くの小学校、中学校の人といっしょに活動するようになっていると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 自分のことを先生がしっかりわかってくれるようになったと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 小学校や中学校の先生たちが、授業をしてくれたり、参観(さんかん)してくれたりするようになったと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 小・中学校がいっしょになった地域(ちいき)での行事やPTA・育友会(いくゆうかい)行事がふえたと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 担任(たんにん)以外の先生や中学校の先生にも教えてほしいと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 小・中学校がいっしょになって行事などをすることに心配はない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 近くの小学校や中学校のようすが、おたよりの掲示物(けいじぶつ)などでわかるようになった。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11 小学生と中学生がいっしょに活動することは大切だと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12 上級生や中学生を、すごいと感じるようになった。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【うらにつづきます】



(3) 中学校入学に向け、心配(しんぱい)や不安(ふあん)に思うことはありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでマークをぬりつぶしてください。(2つ以上、ぬりつぶしてもよい)

- 1: 中学校での友だち関係
- 2: 中学校での部活動(ぶかつどう)
- 3: 中学校での先輩(せんぱい)との関係
- 4: 教科によって教える先生がちがう
- 5: 学習の進め方やテスト
- 6: 授業時間(小学校45分・中学校50分)のちがい
- 7: その他
- 8: 特にない

【これで終わりです。ご協力ありがとうございました】



小中一貫教育についてのアンケート【中学生用】

このアンケートは、日頃思っていること、取り組んでいることなどについてたずねるものです。テストではありませんので、あなたが思ったとおりに答えてください。

それぞれの質問の回答は、あてはまる箇所のマーク をぬりつぶして回答してください。

: 空白マークの例

: 正しいぬりつぶしの例

: 不十分なぬりつぶしの例

マークのぬりつぶしは、Bまたは2Bの黒鉛筆（シャープペンシル）を使い、濃く、はっきりとぬりつぶしてください。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、用紙をおったりしないように注意してください。

(1) あなたの学年は？

1: 中学1年生

2: 中学2年生

(2) 次の質問1～12について、あなたの考えやようすに最も近いものを1つずつ選んでマークをぬりつぶしてください。

	そう思う	おおむね そう思う	あまり思わ ない	思わない	わからない
1 授業は、これまで習った事やこれから習う事にもふれて進められていると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 担任の先生だけでなく、他の学級・学年の先生や小学校の先生など多くの先生とかがわることが多くなっていると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 地域を知ったり、地域の人たちといっしょに活動したりする学習が多くなっていると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 他の学年や近くの小学校の人といっしょに活動するようになっていると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 自分のことを先生がしっかりわかってくれるようになったと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 小学校の先生たちが、授業をしてくれたり、参観してくれたりするようになったと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 小・中学校がいっしょになった地域での行事やPTA・育友会行事が増えたと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 小学生でも、担任以外の先生や中学校の先生にも教えてもらった方がよいと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 小・中学校がいっしょになって行事などをするのに心配はない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 近くの小学校のようすが、学校通信（たより）や掲示物などでわかるようになった。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11 小学生と中学生がいっしょに活動することは大切だと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12 小学生に対して、中学生としての自信と自覚がでてきた。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【裏につづきます】



(3) 中学校入学直後、悩んだり、とまどったりしたことはありませんか。次の中からあてはまるものをすべて選んでマークをぬりつぶしてください。(2つ以上、ぬりつぶしてもよろしい)

- 1: 中学校での友だち関係
- 2: 中学校での部活動
- 3: 中学校での先輩との関係
- 4: 教科によって教える先生が違う
- 5: 学習の進め方や定期(中間・期末)テスト
- 6: 授業時間(小学校45分・中学校50分)の違い
- 7: その他
- 8: 特にない

【これで終わりです。ご協力ありがとうございました】



小中一貫教育についてのアンケート【小学生保護者用】

宇治市では、平成22年度から2年間の試行期間を経て、本年4月から小中一貫教育を全面実施しています。このたび、本市小中一貫教育のスタートにあたり、保護者の皆様を対象としたアンケートを実施することになりました。このアンケートは無記名で回収させていただきますので、ご意見や実状をありのままにご回答いただき、7月6日までに学校へご提出ください。お手数をおかけしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それぞれの質問の回答は、あてはまる箇所のマーク をぬりつぶしてご回答ください。

: 空白マークの例

: 正しいぬりつぶしの例

: 不十分なぬりつぶしの例

この用紙は機械で処理いたします。マークのぬりつぶしは、Bまたは2Bの黒鉛筆（シャープペンシル）を使い、濃く、はっきりとご記入ください。また、回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたりしないようご注意ください。

(1) あなたのお子さんは何年生ですか？

1: 小学4年生

2: 小学5年生

3: 小学6年生

(2) この間の小中一貫教育の試行ならびに全面実施を通して思われたことなどについて、お伺いします。以下の各項目について、お答えください。（各項目、1つずつマークをぬりつぶしてください）

	そう思う	おおむね そう思う	あまり思わ ない	思わない	わからない
1 授業で、これまで習った事や今後習う事にもふれるなど、学習内容のつながりを意識してほしいと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 担任や学年の先生に限らず、他学年の先生など多くの先生と我が子がかわりを持つようになってほしいと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 地域の方を先生として招いたり校区の良さを知る活動など、地域と結びついた教育活動を計画的に行ってほしいと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 異学年交流や小・中学校との交流を多くしてほしいと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 先生は、我が子のことを多方面から深く理解してくれるようになったと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 小・中学校の先生がいっしょに授業参観したり、研修をしたりして交流を深めてほしいと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 中学校ブロックでの地域の集まりやPTA・育友会活動が増えたと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 小学校でも、担任以外の先生や中学校の先生にも我が子を指導してほしいと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 小中一貫教育を行うことに不安や戸惑いはない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 リーフレットやたより、インターネットなどで、宇治市の小中一貫教育の取組状況を知ることができている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11 我が子の成長にとって、小学生と中学生の交流活動や合同行事などを行うことはよいことだと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12 我が子は交流活動などを通して、上級生をよき兄、姉と感じたり、よき兄、姉になろうとしたりするようになったと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【裏面につづきます】



(3) お子さんの中学校入学に向け、保護者として心配や不安に思っておられることはありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでマークをぬりつぶしてください。(複数回答可)

- 1: 中学校での友だち関係
- 2: 中学校での部活動
- 3: 中学校での先輩との関係
- 4: 教科によって教える先生が違う
- 5: 学習の進め方や定期テスト
- 6: 授業時間(小学校45分・中学校50分)の違い
- 7: その他
- 8: 特にない

(4) 小中一貫教育の取組を進めることにより、子どもたちや学校などにどのような成果が現れることを期待されますか。次の項目の中で、あてはまるものをすべて選んでマークをぬりつぶしてください。(複数回答可)

- 1: 学力の充実
- 2: 学習習慣の確立
- 3: 個性の伸長
- 4: 社会的な資質や能力・態度の育成
- 5: 地域に貢献できる人材の育成
- 6: 豊かな人間性や社会性の育成
- 7: 個に応じた指導や支援の充実
- 8: 教職員の資質と指導力の向上
- 9: 学校・家庭・地域社会が一体となった教育環境づくりの推進
- 10: 特にない

【これで終わりです。ご協力ありがとうございました】



小中一貫教育についてのアンケート【中学生保護者用】

宇治市では、平成22年度から2年間の試行期間を経て、本年4月から小中一貫教育を全面実施しています。このたび、本市小中一貫教育のスタートにあたり、保護者の皆様を対象としたアンケートを実施することにいたしました。このアンケートは無記名で回収させていただきますので、ご意見や実状をありのままにご回答いただき、7月6日までに学校へご提出ください。お手数をおかけしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それぞれの質問の回答は、あてはまる箇所のマーク をぬりつぶしてご回答ください。

: 空白マークの例

: 正しいぬりつぶしの例

: 不十分なぬりつぶしの例

この用紙は機械で処理いたします。マークのぬりつぶしは、Bまたは2Bの黒鉛筆（シャープペンシル）を使い、濃く、はっきりとご記入ください。また、回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたりしないようにご注意ください。

(1) あなたのお子さんは何年生ですか？

1: 中学1年生

2: 中学2年生

(2) この間の小中一貫教育の試行ならびに全面実施を通して思われたことなどについて、お伺いします。以下の各項目について、お答えください。（各項目、1つずつマークをぬりつぶしてください）

	そう思う	おおむね そう思う	あまり 思わない	思わない	わからない
1 授業で、これまで習った事や今後習う事にもふれるなど、学習内容のつながりを意識してほしいと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 担任や学年の先生に限らず、他学年の先生など多くの先生と我が子がかかわりを持つようになってほしいと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 地域の方を先生として招いたり校区の良さを知る活動など、地域と結びついた教育活動を計画的に行ってほしいと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 異学年交流や小・中学校との交流を多くしてほしいと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 先生は、我が子のことを多方面から深く理解してくれるようになったと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 小・中学校の先生がいっしょに授業参観したり、研修をしたりして交流を深めてほしいと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 中学校ブロックでの地域の集まりやPTA・育友会活動が増えたと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 小学校でも、担任以外の先生や中学校の先生にも我が子を指導してほしいと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 小中一貫教育を行うことに不安や戸惑いはない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 リーフレットやたより、インターネットなどで、宇治市の小中一貫教育の取組状況を知ることができている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11 我が子の成長にとって、小学生と中学生の交流活動や合同行事などを行うことはよいことだと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12 我が子は交流活動などを通して、上級生をよき兄、姉と感じたり、よき兄、姉になろうとしたりするようになったと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【裏面につづきます】



(3) お子さんが、中学校入学直後、悩んだり、戸惑ったりしていたと感じたことはありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでマークをぬりつぶしてください。(複数回答可)

- 1: 中学校での友だち関係
- 2: 中学校での部活動
- 3: 中学校での先輩との関係
- 4: 教科によって教える先生が違う
- 5: 学習の進め方や定期テスト
- 6: 授業時間(小学校45分・中学校50分)の違い
- 7: その他
- 8: 特にない

(4) 小中一貫教育の取組を進めることにより、子どもたちや学校などにどのような成果が現れることを期待されますか。次の項目の中で、あてはまるものをすべて選んでマークをぬりつぶしてください。(複数回答可)

- 1: 学力の充実
- 2: 学習習慣の確立
- 3: 個性の伸長
- 4: 社会的な資質や能力・態度の育成
- 5: 地域に貢献できる人材の育成
- 6: 豊かな人間性や社会性の育成
- 7: 個に応じた指導や支援の充実
- 8: 教職員の資質と指導力の向上
- 9: 学校・家庭・地域社会が一体となった教育環境づくりの推進
- 10: 特にない

【これで終わりです。ご協力ありがとうございました】



小中一貫教育についてのアンケート【学校用】

本市は、平成24年4月からすべての市立小・中学校で小中一貫教育を全面実施しています。このアンケートは、今後の取組推進のための参考にさせていただくものです。お忙しい中ではありますが、ご理解とご協力をお願いします。

この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたりしないように注意してください。

(1) 校種は？

1: 小学校

2: 中学校

(2) この間の小中一貫教育の試行ならびに全面実施を通して、お伺いします。以下の各項目について、学校の状況をお答えください。（各項目、1つずつマークをしてください）

	そう思う	おおむね そう思う	あまり思わ ない	思わない	わからない
1 小中一貫教育の試行により、9年間を見通した系統的・継続的な学習指導を意識するようになった。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 小中一貫教育の試行により、9年間を見通した系統的・継続的な生徒指導を意識するようになった。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 小中一貫教育の試行により、9年間を見通し、地域に根ざした特色ある教育活動を行うようになった。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 小中一貫教育の試行により、児童生徒間の交流活動や地域社会との交流を行うようになった。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 小中一貫教育の試行により、児童生徒一人一人への理解が深まった。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 小中一貫教育の試行により、小・中学校教職員間の交流が深まった。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 小中一貫教育の試行により、中学校ブロックを単位とした地域社会・保護者相互の連携が深まった。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 中学校ブロックにつくられている推進組織は、小中一貫教育の推進に役立っている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 各校の小中一貫教育コーディネーターの役割は、小中一貫教育の推進に役立っている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 中学校ブロックの教科連携教員・小中連携加配教員の役割は、小中一貫教育の推進に役立っている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11 中学校ブロック内の授業や指導の様子を参観することは、児童生徒理解や自校での指導に役立っている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12 中学校ブロックで行う合同研修会は、児童生徒理解や自校での指導に役立っている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13 中学校ブロックの体制や条件が整えば、他校での授業や部活動などの指導をしてもよい。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14 小中一貫教育を行うことに不安や戸惑いはない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15 市教委や中学校ブロックなどが発行するリーフレット（小中一貫教育だより）などは、小中一貫教育の取組全般について保護者や地域住民に広報することに役立っている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16 小・中学生の交流活動や合同行事は教育的に有効である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17 小中一貫教育により、自尊感情が育つと考える。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18 いわゆる中1ギャップを感じることもある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【裏面につづきます】



(3) 小中一貫教育を行うことにより、どのような成果を期待しますか。次の中から、あてはまるものをすべて選んでマークをしてください。(複数回答可)

- 1: 学力の充実
- 2: 学習習慣の確立
- 3: 個性の伸長
- 4: 社会的な資質や能力・態度の育成
- 5: 地域に貢献できる人材の育成
- 6: 豊かな人間性や社会性の育成
- 7: 個に応じた指導や支援の充実
- 8: 教職員の資質と指導力の向上
- 9: 学校・家庭・地域社会が一体となった教育環境づくりの推進
- 10: 特にない

【これで終わりです。ご協力ありがとうございました】

